回 覧

かんきょうだより

第57号　平成26年9月1日
役場　生活環境係

汚泥発酵肥料の無料配布について

常日頃、皆様にはごみの分別にご協力いただきまして、誠にありがとうございます。『南宗谷汚泥再生処理施設』では、皆様から収集しました「生ごみ」や「し尿」等でコンポスト（普通肥料）を作り、地域の皆様の家庭菜園用の肥料としてご利用いただいております。

今年度も南宗谷衛生施設組合の構成町村の皆様へ無料で配布しておりますので、ご希望の方は下記へお問い合わせください。

〇役場　住民課 生活環境係　（電話　２－３１３３）
〇無料配布の量 ２０㎏単位（袋入り）
〇随時　（申し込みの際に打ち合わせさせていただきます。）
〇引渡しの場所　猿払村役場裏倉庫

～南宗谷クリーン汚泥０３号肥料（堆肥）の使用目安について～

【施用量】
●畑作野菜への施用　堆肥 20 ㎏/袋で、約 29 坪（95 ㎡）に施用可能です。
●草地への施用　　堆肥 20 ㎏/袋で、約 20 坪（66 ㎡）に施用可能です。

｛堆肥中の肥料成分｝

	主要３成分の平均的な測定値	肥料成分
窒　素	5.7%	0.5～1.0%
リン酸	5.7%	5.8%
カ　リ	0.6%	0.5%

＊成分は製作時期により、ばらつきがあります。「カリ」が全般的に少なめです。
＊値は前年度測定値の平均です。

【豆知識】
窒　素 ⇒ 葉肥（はごえ）ともいい、葉や茎の成長に重要な働きをします。
過剰になると葉ばかり大きくなり、病気にかかりやすくなります。
リン酸 ⇒ 花肥（はなごえ）又は実肥（みごえ）ともいい、植物の成長を旺盛にします。
カ　リ ⇒ 根肥（ねごえ）ともいい、根の成長をよくします。
不足するとイモ類や大根などの根菜類は収量が少なくなります。

【注意事項】
●表面にまかずに、深さ 10～15 ㎝の土と混ぜて使用して下さい。又、まきすぎには注意して下さい。作物が伸びすぎ、病気の原因となります。
●春に堆肥を使用する場合：　種でまくものについては、土と混ぜてから 3～4 週間置いてからまくようにして下さい。
●秋に堆肥を使用する場合：　畑にすき込みして、翌年春に作付けする場合は問題ありません。
●酸性が強い土は、野菜にとって良い状態ではないため、土壌の酸化を防ぐために石灰などの使用をお勧めします。